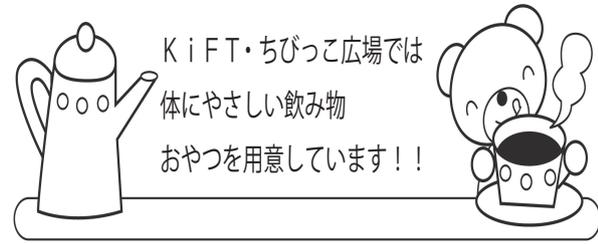


応援します。なかよし親子

Come Come



2022年9月号

幼い子の「読んで」は
「遊んで」「話しかけて」のサインです!

☆大切なのは「ママと絵本で遊ぶのは楽しい」という気持ち

子どもが文字を認識するのは4～5歳くらいから。それより幼いときは、「自分の方を向いてほしい」というコミュニケーションを求めているサインです。ですから、「順を追って読む」「最後まで読む」にとらわれないで好きなページを見ながら「おいしそうだね」「これは何？」など、絵本を使って会話を楽しみましょう。家庭での読み聞かせは、ママと子どもが楽しい時間を過ごすことが大切。絵本を通しての楽しい経験を積み重ねて、ようやく「お話を聞くのは楽しい」と思えるようになります。

0, 1, 2歳なら、身近なテーマの「生活絵本」がおすすめ。

3, 4, 5歳は、生活絵本をたっぷり楽しんだ後、耳から聞く言葉や音のリズムと、目から見る絵本の内容が次第に一致していく時期です。子どもが「読んで」と持ってきた本は、何度でも繰り返し読んであげるのがいいでしょう。

また、読み聞かせは、ママのお膝の上でとよく言われますが、「三角形」のポジションで!がおすすめです。なぜなら、①わが子の表情がよく見える ②子どももママの顔をよく見ることが出来るからです。

絵本から広がるあそび

～ “音” をテーマにした絵本～

「おとがいっぱい」 作・たちもとみちこ : ブロンズ新社

朝起きてからの1日を、音で描いています。自分の日常と重なる動作や表情の動物たちの絵を見ながら、音へのイメージを膨らませて楽しめます。一つ一つの絵に応じた音を意識して声にすると、体験と言葉がつながり、ワクワクが伝わっていきますよ。

「ぴあのうさぎ」 作・絵 あきやまただし : 金の星社

ソとラの音で「空」シとソの音で「シーソー」。ピアノが大好きな“ぴあのうさぎ”が弾くドレミの音階を一緒に歌い、参加して楽しめます。声の高低やスピードを変えて読んでも面白いですし、言葉遊びへの興味や楽しみが生まれるかもしれません (*^_^*)



ゆうゆうKiFT (児童クラブ解放日) のお知らせ

9月の解放日…16日(金) 10:00～11:30 切り絵教室
10月の解放日…28日(金) 10:00～11:30 3色パステルアート教室
興味のある方はスタッフまで(*^_^*)

